

令和元年7月5日

九州電力株式会社
玄海原子力発電所長 小西 政彦 殿

玄海原子力規制事務所
統括原子力運転検査官 菊川 明広

安全文化・組織風土劣化防止に係る取組の総合評価について

平成30年4月1日から平成31年3月31日に行われた、玄海原子力発電所における安全文化醸成活動については、以下のとおり評価しましたので通知します。

記

【総合所見】

安全文化・組織風土の劣化防止に係る取組状況については、事業者が策定した計画に基づき、適切に安全文化醸成活動へ取り組んでいること、また、安全を最優先するというトップの考えを踏まえた発電所運営に取り組んでいる姿勢が確認できたことから「継続的な改善が行われてきている。」と評価する。

安全文化・組織風土の劣化兆候については、平成30年度に発生した不適合事案に鑑みて「常に問いかける姿勢」及び「作業管理」の安全文化要素において改善の余地があることから「さらに傾向を見るため継続した監視を必要とする。」と評価する。

以上